大会名 Competition	第77回東北高等学校男女バスケットボール選手権大会兼第58回ＮＨＫ杯大会 男子決勝
NO, B-2	Year Month Day Time 2022 年 6 月 26 日 12 : 00
場 所 Place	CNAアリーナ★あきた

秋田県高等学校体育連盟
バスケットボール専門部

Crew Chief
土門　亮太
Umpire 1
三瓶　吉人
Umpire 2
田村　高光
ﾃｰﾌﾞﾙ･ｵﾌｨｼｬﾙｽﾞ:Table officals
秋田南高校男子バスケットボール部

チームＡ		チームＢ
仙台大明成	24 1st 12 25 2nd 23 25 3rd 21 37 4th 30 OT	羽　黒
111 ○		86 ●

No,	Pl-in	選手氏名 Name of Players		PTS	３Ｐ	２Ｐ	FT	F
4	×	片　原　飛　斗		4	0	2	0	0
5		加　藤　陽　貴		－	－	－	－	－
6	×	内　藤　晴　樹	CAP	48	5	12	9	2
7	×	佐　藤　　晴		12	0	6	0	3
8	×	ウィリアムス　ショーン莉音		25	0	11	3	2
9	／	柘　植　皓　心		0	0	0	0	1
10	×	八重樫　ショーン龍		17	2	4	3	4
11		丹　尾　太　城		－	－	－	－	－
12	／	瀧　　豊　多		0	0	0	0	0
13	／	村　　忠　俊		0	0	0	0	0
14	／	近　　怜大成		0	0	0	0	0
15		ギバ　俐希カトゥ		－	－	－	－	－
16	／	塚　本　夏　生		5	1	0	2	2
17	／	首　藤　　怜		0	0	0	0	0
18		石　岡　　青		－	－	－	－	－
ｺｰﾁ		佐　藤　久　夫						
Aｺｰﾁ		高　橋　陽　介						
合　計				111	8	35	17	14

No,	Pl-in	選手氏名 Name of Players		PTS	３Ｐ	２Ｐ	FT	F
2	×	加　藤　律　輝	CAP	24	6	1	4	4
1		谷　藤　大　介		－	－	－	－	－
3	／	近　藤　　蒼		15	5	0	0	2
6		赤　谷　琉　向		－	－	－	－	－
7		三　浦　光太郎		－	－	－	－	－
10	×	小　川　瑛次郎		24	1	8	5	3
11	×	髙　橋　燦　璃		14	2	4	0	4
12	×	三　浦　　勘		0	0	0	0	1
13		佐　藤　晃　嘉		－	－	－	－	－
14		岩　舘　飛　吾		－	－	－	－	－
16	×	佐々木　健　登		7	1	2	0	3
23		今　井　悠　太		－	－	－	－	－
95		齋　藤　飛　羽		－	－	－	－	－
28	／	佐　藤　　翼		2	0	1	0	2
81		山　岸　大　夢		－	－	－	－	－
ｺｰﾁ		齋　藤　　仁						
Aｺｰﾁ		庄　司　優　也						
〃				86	15	16	9	19

※×:ｽﾀｰﾀｰ　／:交代選手　PTS:ﾎﾟｲﾝﾄ　3P:3Pﾎﾟｲﾝﾄｼｭｰﾄ　2P:2Pﾎﾟｲﾝﾄｼｭｰﾄ　FT:ﾌﾘｰｽﾛｰ　F:ﾌｧｳﾙ

３年ぶりの開催となった東北大会男子決勝は、それぞれインターハイの県代表である宮城県の明成と山形県の羽黒の対戦となった。

第１Ｑ、明成は２－３ゾーン、羽黒はマンツーマンディフェンスでスタート。明成の＃10八重樫がオフェンスリバウンドからゴール下で先制すると、羽黒はすかさず＃10小川が３Ｐを決める。明成は＃6内藤と＃10八重樫のドライブや３Ｐを中心にオフェンスを組み立て、オフェンスリバウンドにも飛び込みセカンドチャンスをものにして得点を重ねていく。羽黒は速いパスワークでノーマークを作るもののなかなか３Ｐが決まらず、オフェンスリバウンドにも絡めない。両チームとも外角シュートの確率が上がらないなか、明成がリバウンドを支配し、24－12と明成のリードで第１Ｑを終えた。

第２Ｑ、開始１分で明成は１－１－２－１のゾーンプレスからの２－３ゾーンに切り替えプレッシャーを強め、＃6内藤や＃7の佐藤のミドルで着実に加点する。対する羽黒は＃2加藤の３Ｐがようやく決まり、ディフェンスを３－２ゾーンに切り替える。明成が羽黒のゾーンを崩せず、ここで主導権を握りたかった羽黒だが、パスやトラベリングなどオフェンスのミスが連続し、シュートまで持ち込めない苦しい時間が続く。終盤に＃6内藤の３Ｐやフリースローで着実に加点した明成がリードを保ち、49－35と明成が１４点リードで前半終了。

第３Ｑ、両チームともゾーンディフェンスでスタート。リバウンドからの速攻でリードを１６点に広げた明成に対し、羽黒は＃2加藤のミドルや３Ｐで加点し、開始６分にはブロックショットから速攻につなげて＃10小川がレイアップを決め、46－58と羽黒が差を縮めていく。しかし、羽黒は＃2加藤が４ファールでベンチに下がると、終盤は明成が主導権を握り＃6内藤、＃10八重樫の３Ｐが連続して決まり、74－56と明成がリードを広げて第３Ｑが終了した。

第４Ｑ、羽黒はリバウンドで粘りを見せ、ここから差を詰めたいところだが、なかなか外角シュートの確率が上がらない。明成は＃8ウィリアムス、＃7佐藤がゴール下のシュートを沈め、＃10八重樫、＃6内藤のドライブも決まり、じわじわと点差を広げていく。残り３分を切ったところで羽黒は合わせのプレーが決まり、＃2加藤、＃3近藤が４連続で３Ｐを決めて意地を見せる。明成もオフェンスリバウンドを着実に得点につなげ、111－86と明成が点差を広げたところでタイムアップ。試合全体を通してリバウンドで圧倒し、終始ゲームを支配した明成が東北大会４連覇を達成した。

文責　【　打矢泰之（横手高校）　】